

# かしはらし シルバー人材センター かわらばん

NO.114 2023年5-6月号

3月末会員数:489名

(女性:168名・男性:321名)

会員平均年齢:75.2歳

発行責任者 間瀬 彰久

編集者 岡本 恵美

(公社) 榎原市シルバー人材センター 〒634-0075 榎原市小房町11番1号(かしはら万葉ホール東側)

TEL 0744-26-2560 FAX 0744-26-2561

＜令和5年3月22日(水)午前10時から

榎原市中央公民館3階講座室において令和4年度第2回理事会が開催されました＞

理事会に付された議案などは、①令和4年度第1次補正収支予算書②不納欠損処分③令和5年度事業計画④令和5年度収支予算書⑤正会員入会承認⑥嘱託職員等の就業に関する規則一部改正⑦嘱託職員等の就業に関する規則施行細則制定⑧令和5年度役員賠償責任保険及び個人情報漏えい保険⑨理事長に対する権限委任の議案の他報告案件及び「総会議案に付する理事及び監事の選任届出方法」が審議され議決承認されました。



令和4年度第1次補正収支予算書では、決算前の収支を調整し、材料費収入及び派遣手数料、コロナウイルス対策事業補助金などの増加、受取会費の減少分など補正を行い経常収益が274,870千円、事業費用では支払材料費、人件費、什器備品費、委託費などを精査した結果経常費用を274,375千円とし、正味財産期末残高が、24,070千円となる補正予算が承認されました。

令和5年度事業計画及び収支予算書は、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することにより、高年齢者の居場所と活動の場をつくり、生涯現役社会の実現を果たす役割を担っていると共に、高年齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を実行することにより、認知症予防、医療費や介護給付費の削減に寄与していますが、人口減少の進行、少子高齢化は進んでおり、令和4年9月時点では高齢化率が29.1%となっています。新型コロナウイルスによる経済への影響や働き方改革を含めた生活様式も変容してきており、シルバー人材センターの会員は重症化リスクが高い高齢者であることから引き続き感染防止を重視した作業環境が必要です。また、センターの継続的安定的事業運営には、会員の拡大、就業の拡大に取り組むと共に、高齢者のインターネット利用率の上昇に合わせ、デジタル化によるセンター業務の効率化に取り組む必要があります。このような社会状況のなか榎原市SCでは、高齢者の生きがい就業と企業・家庭等の現状を踏まえた様々なニーズに応え、地域の活性化に寄与するため、理念である「**自主・自立・共働・共助**」の実践を運営に活かすことを基本に**事業計画の大きな柱は**、①組織活動事業(新規にデジタル利用の推進)②会員拡大の推進(入会説明会での映像



自主

自立

共働

共助

## 【慣れ・油断・ルール無視は事故のもと】

の活用を新規に)③就業機会の拡大④シルバー派遣事業⑤福祉・家事援助、子育て支援⑥安全・適正③就業機会の拡大④シルバー派遣事業⑤福祉・家事援助、子育て支援⑥安全・適正就業対策事業(安全就業ニュースの会員共有化・飛び石対策としてのカルマー刈払機班設立を新規に)⑦普及啓発活動の推進が掲げられています。予算規模としては、配分金収入が180, 86



0千円、受取材料費24, 000千円、受取事務費21, 456千円、派遣事業等受託収益2, 700千円、介護予防総合事業収益4, 784千円、受取補助金等34, 630千円を計上し、前年度当初予算より2, 792千円減少し総額で270, 100千円となり、費用は、支払配分金185, 000千円、支払材料費19, 450千円、その他プロパー職員の給与費用等を含み経常費用を26

9, 100千円計上し、当期経常益が1, 000千円となり、正味財産期末残高は25, 070千円となる予算が承認されました。その他の議案等につきましても慎重審議され承認されました。

理事からは、コロナ禍前の事業高に戻す取組、会員の高齢化に見合った仕事と作業経費基準の設定が必要で、そのためプロパー職員が事業計画を実施するために主体的任務を果たせる体制になりつつあるが、理事会としても事務局体制プロパー職員への協力を願いたい等の意見がだされました。



＜令和5年3月24日(金)中央公民館4階第1会議室において

清掃作業就業会員研修会兼交流会を榎原SCとして初めて開催しました＞

清掃作業では約80名の会員が就業していますが、職群班も無く1～2名での就業となるため、会員相互の交流が持てないなどの意見があり今回初めて開催し当日就業の関係もあり19名の出席がありました。

事務局から会員共通の認識事項として、①個人情報の取り扱い(就業報告書には発注者の個人情報が記載されている)②本年10月実施のインボイス制度に対するSCの対応を提起しました。清掃作業就業の注意点



としては「安全就業について」清掃作業での事故報告は、令和4年中にはありませんが、就業中だけではなく、就業先への道中も事故が起こらないよう安全就業に注意すると共に「清掃就業の注意事項」を守り日々の丁寧な清掃就業に努めることを確認しました。連絡報告事項のあと4グループに分かれ「清掃作業で困っていること」をテーマにミーティングを行いグル



ーリーダーから発表がありました。主な内容は①作業時間内に終われない②ゴミ置き場に不燃物ゴミが放置されたままになっている③就業時のトイレ利用④一人就業なので急な体調不良に不安があり身元が分かる会員証を常に携帯しているなどの発表があり、今後も意見交換や清掃作業会員の交流会を定期的開催することを確認しました。

